

#### IV. 熱中症を予防するための「見える化」

基本ひとり作業で、自由に休憩が取り難い誘導員の  
スマホを活用した熱中症予防の見える化

誘導員は

- ・基本ひとり作業
- ・車輛の状況で自由に休憩が取り難い 作業内容です。



誘導状況



首に掛けたスマホ



腕に取付けたバンド

スマホの「バイタルセンシング」を活用して

- ① 誘導員の腕に取付けたバンドで作業場所の温度と湿度データ
- ② 誘導員の腕に取付けたバンドで脈拍と身体負荷データ
- ③ 誘導員の腕に取付けたバンドで作業位置情報

を事務所パソコンに送り誘導員の作業環境を遠隔見守り管理

- ④ 作業環境と誘導員の脈拍と身体負荷データに異常があれば、  
腕に取付けたバンドが振動して本人にも通知する

誘導員もスマホの「バイタルセンシング」で事務所に繋がっている安心感から熱中症は発生していません。